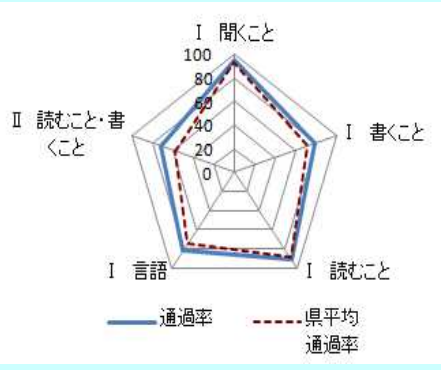


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 82.0%, 県 74.7%) 対県比 110%

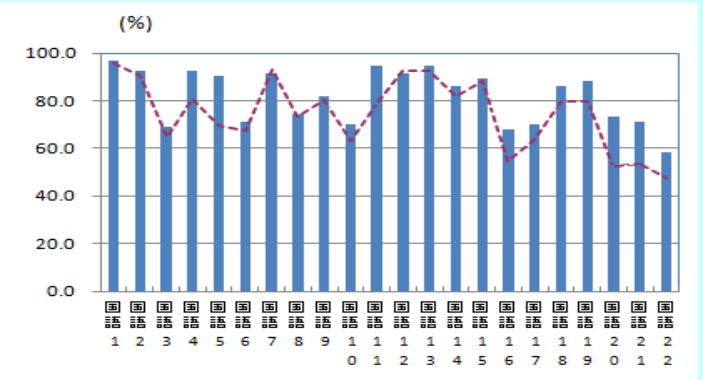
全国学力・学習状況調査 本年度正答率

本年度の結果について

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



A問題	B問題
本校 73.1 % 全国 70.0 % 県 73.8 %	本校 72.5 % 全国 65.4 % 県 69.7 %

基礎基本の結果において、タイプIは84.0%、タイプIIは72.9%の通過率となっている。
 タイプI・国語Aについては、目的に応じて記述することなど「書くこと」に課題が見られた。
 タイプII・国語Bについても、情報の取り出しや理由・事例を挙げて記述することなど「書くこと」に課題が見られた。

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比 110 %

重点課題

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査
 複数の資料から必要な情報を取り出し、それらを関係付けて論理的に説明する問題に課題がある。条件に合うように文章を書くことができない児童が41.4%(通過率58.5%)

【課題2】全国学力・学習状況調査
 新聞のコラムを読んで、表現の工夫をとらえる問題に課題がある。筆者が引用している部分を引き出すことができない児童が82.1%

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査
 問題全体をよく読んで必要な情報を的確に選ぶ活動を設定する。必要ない情報を選ばないように、問題文に傍線を引くなどの工夫をさせる。また、その条件に合うように文章を書かせる。

【課題2】全国学力・学習状況調査
 児童が引用する目的意識や必要性を十分に持てる言語活動を位置づけ、課題解決の過程において指導する。

「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		5年生 小テスト		1~4年 学期末テスト	4年生 学力定着実態調査	1~3年 標準学力調査	4年生 過去問題
目標値		70.0%		80.0%	80.0%	70.0%	
実施後数値							

全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		6年生 小テスト		5,6年 学期末テスト	5年生 過去問題	5年生 標準学力調査	5年生 H26 全国学力
目標値		70.0%		80.0%		75.0%	75.0%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 78.7%, 県 71.6%)

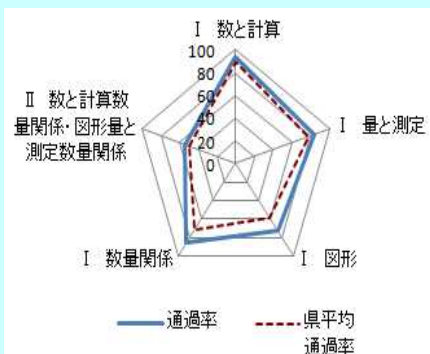
対県比

110 %

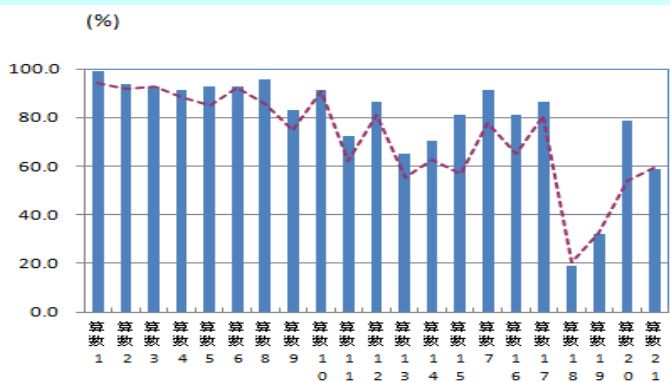
全国学力・学習状況調査 本年度正答率

本年度の結果について

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



A問題

本校 75.9 %
全国 75.2 %
県 77.8 %

B問題

本校 46.0 %
全国 45.0 %
県 46.7 %

基礎基本の結果において、タイプIは86.2%、タイプIIは54.9%の通過率となっている。

タイプI・算数Aについては、直方体の面に垂直な辺を見つけることや円の性質を使って証明することなど「図形」に課題が見られた。

タイプII・算数Bについては、折れ線グラフと棒グラフの関連付けや割合など「数量関係」に課題が見られた。

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比

105 %

重点課題

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

折れ線グラフと棒グラフから特徴や傾向を読み取る問題に課題がある。伸びを表す棒グラフが理解できていない(読み取りになれていない)児童が75.5%。(通過率19.1%)

【課題2】全国学力・学習状況調査

示された三角形が二等辺三角形になる根拠を円の性質と関連付けて判断することに課題がある。円の性質と関連付けてとらえられなかった児童が41.9%。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

グラフの読み方をしっかりと押さえ、2つのグラフを関連づけられるようにする。社会科や保健指導など、他教科・領域でもグラフの読み取りをさせるなど、棒グラフの良さを体感させる活動を取り入れる。

【課題2】全国学力・学習状況調査

作図などの活動を通して、図形の特徴を確かめたり、どのような特徴を用いたら作図できるかを予想させたりする場を設ける。

「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		5年生 小テスト		1~4年 学期末テスト	4年生 学力定着実態調査	1~3年 標準学力調査	4年生 過去問題
目標値		70.0%		80.0%	80.0%	70.0%	
実施後数値							

全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		6年生 小テスト		5,6年 学期末テスト	5年生 過去問題	5年生 標準学力調査	5年生 H26 全国学力
目標値		70.0%		80.0%		75.0%	75.0%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 71.0%, 県 65.3%)

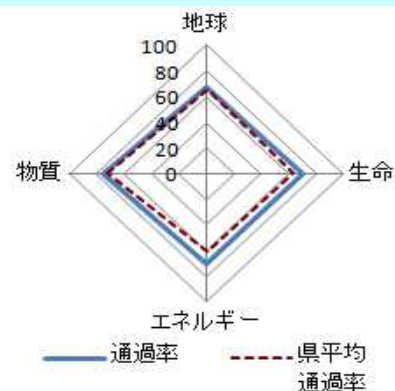
対県比

109%

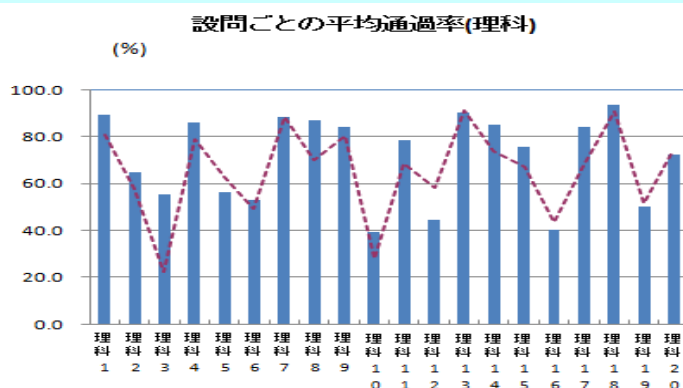
全国学力・学習状況調査 本年度正答率

本年度の結果について

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本校 63.2 %
 全国 60.8 %
 県 63.2 %

理科の結果において、タイプⅠは75.8%、タイプⅡは59.8%の通過率となっている。
 タイプⅠ・「知識」に関する問題については、方位磁針の正しい使い方や、星座の動きなど「地球」に関する内容に課題が見られた。
 タイプⅡ・「活用」に関する内容については、昆虫の体や、グラフを基に考察することなど「生命」や「物質」に課題が見られた。

重点課題

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

昆虫の体の特徴を根拠として、具体的な昆虫の体のつくりについて説明したり、方位磁針を正しく使ったりすることに課題がある。正しく説明したり使ったりできない児童が59%。(通過率40%)

【課題2】全国学力・学習状況調査

温度の変化に伴って変わる析出する量について、グラフを基に考察して分析することに課題がある。グラフを基に分析できない児童79.4%。

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

体験を重視し、積極的に実験観察を行わせたり、複数のケースに当たらせ、それぞれに当てはめて物事を考えさせたりするように指導の工夫を行う。

【課題2】全国学力・学習状況調査

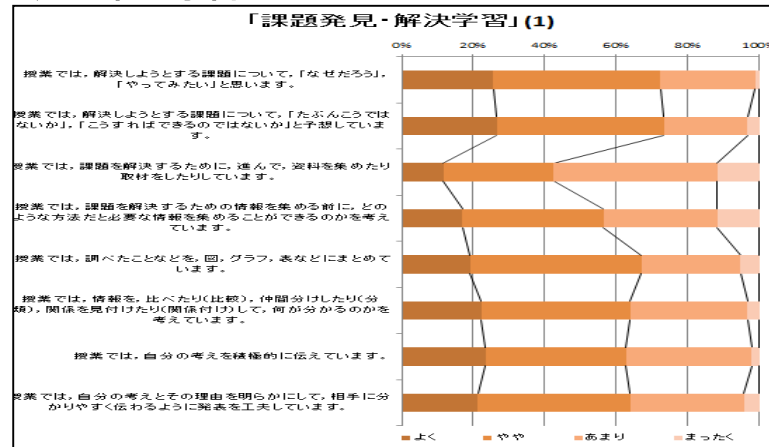
実験の様子をじっくりと観察する場面を設定する。また、実感を伴って理解させる。

「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		5年生 小テスト		3, 4年 学期末テスト	4年生 学力定着実態調査	4年生 過去問題	3, 4年生 学年末テスト
目標値		70.0%		80.0%	75.0%		85.0%
実施後数値							

全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		6年生 小テスト		5, 6年 学期末テスト	5年生 過去問題	5年生 過去問題	5年生 H26 全国学力
目標値		70.0%		80.0%			65.0%
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）

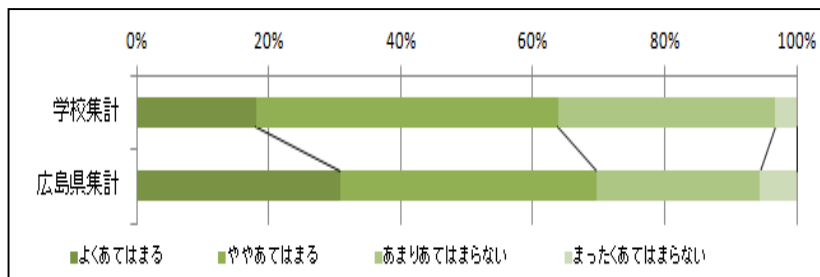
(1) 生活・学習



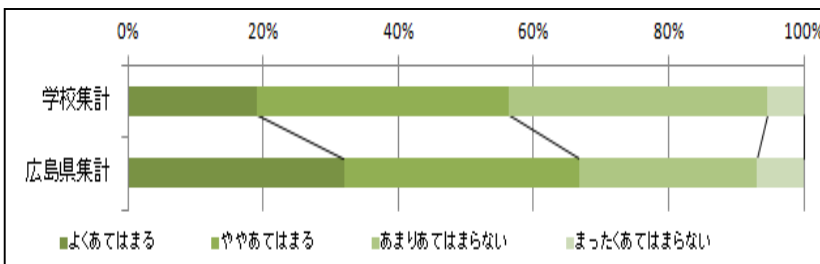
児童の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
授業で、課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりすること。(42.6%)	今年度は、学校図書館の有効活用に力を入れていく。単元構成の工夫を行い、積極的に図書やインターネットから情報を集めてまとめていく活動を各教科・領域で設定し、実践していく。	5	70	児童アンケート調査	11月		

(2) 教科

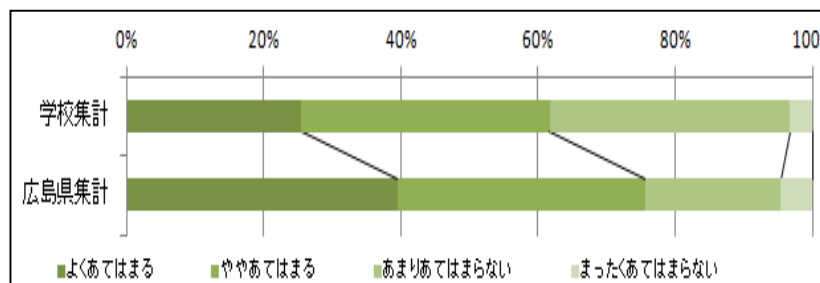
国語の授業では、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしています。



算数の授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業では、観察や実験の結果をノートやグラフ、表などに記録したり記述したりする方法について学んでいます。



児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語 目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりすること(63.8%)	単元構成の工夫を行い、単元を通して付けたい力を児童と共有して、資料を読んだりまとめたりする活動を取り入れていく。	5	80	児童アンケート調査	11月		
算数 とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明すること(56.3%)	自力解決の時間を確保し、ノートに考え方をまとめさせる。また、授業毎に振り返りの時間を設定し、友だちとの学び合いを大切にしていることにより、理由を付けて説明し合うことの大切さを学び取らせるよう工夫する。	5	65	児童アンケート調査	1月		
理科 観察や実験の結果をノートやグラフ、表などに記録したり記述する方法について学ぶこと(61.7%)	全員が記述できるよう、時間の確保をする。また、グラフや表などの記録用紙を工夫して準備する。	5	75	児童アンケート調査	1月		